

# 今年度の取り組み

- サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト
  - 「高校生がつくる茨城まちづくりプラン2008」
- 県内4県立学校（普通科、造園科）
  - 各校6名
    - 2学年 19名（男子15名、女子4名）
    - 1学年 5名（男子5名）
- 予算の削減（300万円→200万円）

# スケジュール2008

7月下旬	まちあるき まちづくりワークショップ	形態①	各高校
8月4日	演習 人口・産業などの将来予測 演習 航空写真で見る地域の発展 演習 フィールド調査に基づくデジタル地図づくり	形態②	つくば合宿 (1泊2日)
8月5日	テーマ発表会		
8月中旬	グループ作業	形態③	各高校
8月24日	まちあるき つくば(学園都市地域等)	形態④	つくば合宿 (1泊2日)
8月25日	講義 防災とまちづくり 最終発表会		
9月上旬	公開発表会		各高校

# プロジェクトの工夫

- 目的意識の喪失
  - 学習集団に変化をつける
    - 個々の役割の明確化
    - 異学年混在によるデメリットの低下
  - TA(大学院生)による議論の方向性の誘導
    - 自由に議論する時間が不足
    - テーマの掘り下げが不十分
- 校内でのコミュニケーションができない
  - 電子メール、携帯電話、テレビ会議の活用

# まちあるき(形態①)

	テーマ1	テーマ2	テーマ3			
太田 第一	A	B	C	D	E	F
水戸 第一	G	H	I	J	K	L
石岡 第一	M	N	O	P	Q	R
鉾田 第一	S	T	U	V	W	X

# 合宿前の調査活動

	テーマ1	テーマ2	テーマ3
太田 第一	A B	C D	E F
水戸 第一	G H	I J	K L
石岡 第一	M N	O P	Q R
鉾田 第一	S T	U V	W X

# 講義

	テーマ1	テーマ2	テーマ3			
太田 第一	A	B	C	D	E	F
水戸 第一	G	H	I	J	K	L
石岡 第一	M	N	O	P	Q	R
鉾田 第一	S	T	U	V	W	X

# 演習・ワークショップ(形態②)

	テーマ1		テーマ2		テーマ3	
太田 第一	A	B	C	D	E	F
水戸 第一	G	H	I	J	K	L
石岡 第一	M	N	O	P	Q	R
鉾田 第一	S	T	U	V	W	X

# グループ作業(形態③)

	テーマ1	テーマ2	テーマ3
太田 第一	A B	C D	E F
水戸 第一	G H	I J	K L
石岡 第一	M N	O P	Q R
鉾田 第一	S T	U V	W X



# ワークショップ（形態④）

	テーマ1		テーマ2		テーマ3	
太田 第一	A	B	C	D	E	F
水戸 第一	G	H	I	J	K	L
石岡 第一	M	N	O	P	Q	R
鉾田 第一	S	T	U	V	W	X

# 茨城まちづくりプラン2008

	テーマ1	テーマ2	テーマ3			
太田 第一	A	B	C	D	E	F
水戸 第一	G	H	I	J	K	L
石岡 第一	M	N	O	P	Q	R
鉾田 第一	S	T	U	V	W	X

# 情報科との関連

- 学習ツールとしてのICT機器
  - 参加31名中11名が感想に述べる

- 問題解決型学習



- 学習形態の工夫
  - 競争する集団→協働する集団

「まちづくりは人づくりである」

鬼沢保平鉾田市長

情報手段の活用力

提言内容の具体性

地域への影響力